

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 2 月 27 日 (2014.2.27)

【公開番号】特開 2011-234352 (P2011-234352A)

【公開日】平成 23 年 11 月 17 日 (2011.11.17)

【年通号数】公開・登録公報 2011-046

【出願番号】特願 2011-82727 (P2011-82727)

【国際特許分類】

H 0 3 K 23/44 (2006.01)

H 0 1 L 21/20 (2006.01)

H 0 1 L 29/786 (2006.01)

【F I】

H 0 3 K 23/44

H 0 1 L 21/20

H 0 1 L 29/78 6 1 8 B

H 0 1 L 29/78 6 1 3 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 1 月 10 日 (2014.1.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の回路と、第 2 の回路と、を有し、

前記第 1 の回路は、第 1 のクロック信号及び第 2 のクロック信号に対応して、 $2 \times$ 個 (X は 2 以上の自然数) のパルス信号を出力する機能を有し、

前記第 2 の回路は、前記 $2 \times$ 個のパルス信号に対応して、前記第 1 のクロック信号の周期の X 倍の周期である第 3 のクロック信号を出力する機能を有し、

前記第 2 の回路は、 X 個の第 1 のトランジスタと、 X 個の第 2 のトランジスタと、を有し、

前記 X 個の第 1 のトランジスタ及び前記 X 個の第 2 のトランジスタは、チャンネル形成層としての機能を有する酸化物半導体を含み、

前記酸化物半導体のキャリア濃度は、 $1 \times 10^{14} / \text{cm}^3$ 未満の領域を有し、

前記 X 個の第 1 のトランジスタのゲートには、前記 $2 \times$ 個のパルス信号における 1 個目乃至 X 個目のパルス信号のうち、互いに異なるパルス信号が入力され、

前記 X 個の第 1 のトランジスタはそれぞれ、前記第 3 のクロック信号の電位を第 1 の電位に設定するか否かを制御する機能を有し、

前記 X 個の第 2 のトランジスタのゲートには、前記 $2 \times$ 個のパルス信号における ($X + 1$) 個目乃至 $2 \times$ 個目のパルス信号のうち、互いに異なるパルス信号が入力され、

前記 X 個の第 2 のトランジスタはそれぞれ、前記第 3 のクロック信号の電位を第 2 の電位に設定するか否かを制御する機能を有することを特徴とする分周回路。